



オートサロンに降臨！ 2台のコンセプトトラックを刮目して見よ！！

新型エルフ フューチャーアクセサリーズ EDITION
エルフミオ アウトドア EDITION

2024年 春！！

ベストカーは 10日/26日発売です！

特別編纂

ベストカー

特盛8P編成 講談社ビーシー

世界初公開 ①



一歩先へ 先進感！

超スタイリッシュな新型エルフが登場



衝撃 SCOOP!

あの新型エルフに カスタマイズモデル？



全力特集

「運ぶ」と「遊ぶ」でトラックにもっとワクワクを。

ELF CUSTOMIZE Lab. へようこそ！！



トラックでキャンプに行こう！

世界初公開 ② エルフミオの大胆チェンジ

ベースが良いからカスタマイズが光る！！ 新型エルフ&エルフミオってこんなクルマ！

いずゞA&Sスタッフが語るコンセプトトラックの開発の裏話
トラック用品・アクセサリーのトレンドも聞いてみました

新登場！純正アクセサリーを着せ替えてできる 3Dアクセサリーシミュレーターとは！？

A&Sの売れ筋 定番商品はこれだ！！

トラックをもっとワクワクさせるA&Sって、いったい何者！？



ベース車両
エルフミオの紹介



現行普通免許で乗れるエルフミオ

新型エルフの派生車種として登場したエルフミオは、普通免許で運転できる積載量1tクラスの小型トラックだ。ディーゼル車にして車両総重量3.5t未満に抑えた最大の秘密は、いすゞのピックアップトラック「D-MAX」などに搭載される1.9リッター直噴ターボエンジンを搭載したこと。軽量タイプの専用シャシーや標準キャブなども採用している。今年発売されることが決まっている期待の1台だ。



荷台にはロールバー風のパイプフレームが備わり、テントロープが張られている。ポールを立てれば大きな前室も出現



アウトドアエディションのインテリア。容易に取り外し可能なエプロンタイプのシートカバーが備わる

「トラックでキャンプに行こう!」が合言葉の、エルフミオアウトドアエディション



ISUZU **ELF** mio

OUTDOOR EDITION

今年、新型エルフシリーズに加わる「エルフミオ」は車両総重量3.5t未満、すなわち普通自動車免許で運転できる小型トラックだ。乗用車のような運転感覚と軽快な乗り心地で、老若男女問わず運転しやすいトラックを目指しているが、そのエルフミオの平ボディをベースに、週末の「遊ぶ」に使えるアウトドアフィールドの相棒をイメージし、モノを運ぶためだけではない、トラックの新しい使い方を提案するコンセプト車両である。トラックの平ボディの荷台の自由度を活かし、オフの日は「仕事場」から「遊び場」にチェンジ。「トラックでキャンプに行こう!」が合言葉の遊び心満載のコンセプトトラックである。

トラックにももっとワクワクを。

ELF CUSTOMIZE Lab. へようこそ!!

いすゞA&Sが「東京オートサロン2024」に2台のコンセプトトラックを出品!



「一歩先行く先進感」をテーマに開発された、いすゞエルフ・フューチャーアクセサリーズエディション



先進的なエアロサイドガード纏った新型エルフ。パーティタイプのLEDリヤコンビテールもカッコイイ



内装では、LEDインテリアアクセサリ、ステアリングカバー、シートカバーが新たに開発された

ベース車両
新型エルフの紹介



新型エルフとデュアルクラッチTM「ISIM」

「小型トラックの代名詞」と称されるいすゞエルフは昨年3月にフルモデルチェンジ。七代目となった新型エルフは、多彩なニーズに対応できる新プラットフォーム「I-MACS」の採用、デュアルクラッチ9速AMT「ISIM」の搭載、新開発標準キャブをはじめ内外装の一新のほか、優れた燃費性能、クラスを超えた先進安全性、ドライバー向けアプリの設定などを実施。BEVの「エルフEV」の登場にも注目だ。

ISUZU **ELF**

FUTURE ACCESSORIES EDITION

昨年3月、17年ぶりにフルモデルチェンジした新型エルフは、時代の期待に高次元で応える性能と次代を見据えた新しい価値を備えた小型トラックである。今回「東京オートサロン2024」にいすゞA&Sが出品した「ELF FUTURE ACCESSORIES EDITION」は、この新型エルフの標準キャブバンボディをベースに、「一歩先行く先進感」を表現したコンセプトトラックだ。新型エルフのキャブ外装をさらにスタイリッシュに仕上げただけではなく、サイドからリアにかけても空力性能向上を連想させるディテールとブラックアウトを取り入れたアクセサリーの新しいカタチを提案する意欲的な1台となっている。

NEW ELFmio

エアロサイドガード

サイドをカバーし、ホイールベースを視覚的に長く見せるデザイン。存在感を演出。さらに空力性能の向上も狙う

オーバーフェンダー & マッドガードカバー

エアロサイドガードとのギャップをなくし、一体感と空力性を考慮

エアディフレクター

燃費効果と走行安定性を向上するエアディフレクターをブラックアウトし、先進性を向上

「フューチャーアクセサリズ エディション」

エクステリア／インテリアパーツ

エアロホイールディスク

フラットデザインのホイールディスクを組み込み、先進性と空力性を両立

グリルアンダーガーニッシュ / イルミネーションエンブレム

グリルに装着することで引き締まったフロントフェイスへと進化。エンブレムにはイルミネーションも追加

LED フロントスポイラー

直線的なイルミネーションとブラックアウトにより先進感を表現。さらに末広がり形状がより力強さを演出

エアロドアガーニッシュ

スタイリッシュなデザインと空力性を考慮したアイテム

スマートエアミラー

小型カメラ内蔵を想定し、空力性とデザイン性を考慮したアイテム

LED テールライナー

直線的なLED テールは、スタイリッシュで先進性を考慮



LED インテリアオーナメント、シートカバー、ステアリングカバーなど、外装デザインに合わせた内装アイテムでスタイリッシュな居住空間を表現

サイドアンダーカバー / フェンダーカバー

車両各アイテムをバンパーカバー同様のゴツゴツした触感にすることで、車両全体のアウトドア感をプラス

ルーフキャリア

ルーフキャリアにLED ライトバーを追加し、アウトドアでのデザインと実用性をアップ

ユーティリティーフレーム

仕事でも遊びでも多目的に使えるユーティリティーフレームを荷台に装着

タイヤ&ホイール

タイヤのホワイトレターによりアウトドア感をアップ。ホイールもゴツゴツ触感となっている

「アウトドア エディション」

エクステリア／インテリアパーツ

アウトドアスペース

アウトドアには欠かせないテントをユーティリティーフレームを活用し装着

マッドフラップ

ボディ色と同色にすることで、車両との一体感をアップ

ミラーカバー

ミラーカバーもゴツゴツした触感で、アウトドア気分を高める演出

バンパーカバー

アウトドアを連想させ、遊び心をくすぐるゴツゴツした触感。実用性を考慮しフォグランプも内蔵する

シートカバー (ビニールレザー)

レザーの風合いのあるビニールシートカバー。シートを汚れから保護し、高級感を演出する



ベンチレーションバイザー

通常のドアバイザーに、効率的な換気を促すベンチレーション機能を後付けするアイテム



サイドメッキパーツ

サイドのメッキパーツもドアハンドル、サイドパネル、フェンダー、ホイールキャップ等、多数用意



フロントメッキパーツ

グリル、バンパー、ミラーカバー、スポイラー等をメッキ加飾でドレスアップする定番パーツだ



フロアトレイマット

助手席側に設置する立体のマット。防水となっているため濡れた靴などの小物を置くのに最適だ



コンソールサイドポケット

収納が少ない小型トラックに最適。A4サイズの書類が収納できる取り外し可能な小物入れ



インパネトレイ

新登場となる、ダッシュボードにタブレット端末やスマホなどを立て掛けられる便利なトレイ



インテリアパネルセット

アコースティックギターを思わせる新色サンバーストの他、木目調、ピアノブラックも設定



イルミネーションパーツ

ブルー / ホワイトのLED でエンブレムやラインプレート、キャブ下を照らすライトアップパーツ



ウェルカムランプ

「SUZU」ロゴ入りの光で、運転席側の足を照射する新登場のステップランプ

新型エルフの設定用品の一例

新登場

3D アクセサリーシミュレーターとは？



3D アクセサリーシミュレーターの操作画面

昨年7月に登場した3D アクセサリーシミュレーターは、アクセサリ選びが楽しくなるクオリティの高いシミュレーターだ。車体を360°見回すことができ、アクセサリを装着した様子がスマホやタブレットでも具体的に確認できるので早くも好評を博している。新型エルフとともに新型フォワードにも対応しており、カタログに載せているほとんどの品目をシミュレーターに反映。見積もり機能も向上している。

いすゞ A&S

スタッフインタビュー

カスタマイズすれば トラックはもつともつと ワクワクするギアになる！

「オートサロン2024」に出品された2台のコンセプトトラック。その狙いや開発の裏話など「トラックのアクセサリ・用品のトレンド等」について、いすゞA&Sの皆さんに話を聞いた。

初出展した理由は？

本誌 オートサロンはいすゞグループとして初出展になりますが、どうして今回出展したのでしょうか？
A&S いすゞのトラックが一番販売台数が多い小型トラック「エルフ」が昨年3月にフルモデルチェンジしました。また今年、その弟分になる普通免許で運転できる「エルフミオ」の発売が控えています。そこで新しいエルフを幅広く認知して

いただくため、オートサロンへの出展を決めました。A&Sとしてもトラックとトラック用品に触れていただく機会を設け、新たなカスタマイズの提案をする場としてオートサロンを選ばせていただきました。

本誌 初めての出展となると準備が大変だったと思います。社内体制はどうしたのですか？

A&S 弊社で広告宣伝を担当する部署と社内公募に応じた公募メンバー15名を加えたプロジェクトチームを結成し、車両チーム、ブースチーム、プロモーションチーム、営業チームの4つに分けて昨年7月から活動を開始しました。通常の業

2台のコンセプトトラックの開発の狙い

本誌 では、コンセプトトラックについてお聞きしたいと思います。まずエルフ・フューチャーアクセサリーズエディションの狙いは何でしょうか？

A&S テーマは「一歩先行く先進感」になります。今後の物流課題に対して用品としてどう対応するか、低燃費やカーボンニュートラルといったテーマ

務をしながらプロジェクトを進めるのは大変でしたが、良い化学変化となって社内の結束も高まったように思います。

本誌 次にエルフミオ・アウトドアエディションですが、こちらの狙いはどういったところになりますか？

A&S 一般の方が普通免許で運転できるクルマですから、「運ぶ」「働く」、以外で新しい使い方はないのかを考え、平ボディの荷台の自由度を活かして「仕事場」から「遊び場」にカスタマイズしてみようという新しい提案です。荷台にはロールバー風のフレームが組み込んであ



コンセプトトラックの製作やオートサロンプースの設定に尽力したいいすゞA&Sのスタッフの皆さん。このほかのメンバーも含め「初出展」に向けてA&Sの結束がさらに深まった

トラックの用品 アクセサリのトレンド

本誌 ここからはA&Sさんが販売されている純正用品についてお聞きしたいのですが、売れ筋商品というところいったものになりますか？

A&S 純正用品として、車両の機能性や利便性を向上させるアイテムだけではなく、外装や車両魅力をさらに高めるドレスアップアイテムなど幅広くラインナップしています。ベリックな純正用品ですとドアバ

イザーとラバーマットは定番アイテムとなります。それだけではなく、昨年の新型エルフ発売にあわせ、換気機能を強化したドアバイザー「ベンチレーションバイザーセット」や濡れた小物を置くのに適した立体構造の「フロアトレイマット」など、さらに付加価値を向上させるアイテムを新たに設定しました。ドレスアップアイテムでは、やはり外装のメッキアイテムが人気です。部位や形状によつて、通常のメッキだけではなく、蒸着フィルムを用いたメツ

キ調パーツ、さらに三価メッキのブラッククロムも設定しています。乗用車ではドレスアップの要素が中心となりますが、トラックではメッキアイテムを装着すると車両に清潔感が感じられるというお声も頂戴しております。また、フロント部を華やかに彩るイルミネーションアイテムも大型トラックから小型トラックまで大変好評です。

ら大型まで車種別に設定しておりますので、取り扱い点数が多変多いのが特徴です。用品カタログをご覧いただくだけでも読み込めがありますが、昨年の新型エルフ登場を機にWebでもご覧いただけるアクセサリシミュレーターを「2D→3D化」したものを新たに立ち上げ、純正用品がより選びやすくなったと好評です。いすゞA&Sは常にユーザー様の期待の上回る純正用品を提供することを目指しているのです、大変ですが、とてもやりがいを感じています。

アクセサリカタログで振り返る

エルフの足跡と用品の系譜

エルフもいすゞA&Sも長い歴史を有しているが、アクセサリパーツが注目されるようになってきたここ20年の足跡をA&Sのアクセサリカタログから振り返ってみよう。

02'
11月~



2002年にマイナーチェンジした5代目エルフでは、メッキバージョンに加えホワイトバージョン（バンパーやミラーカバーなど）が登場した



06'
6月~



5代目エルフの後期モデルでは、ホワイトバージョンの比率が高まり、メッキに迫るほどに……。エアロパーツも各種設定された



09'
4月~



6代目エルフでは、ワイドと標準の間にハイキャブを設定。燃費向上を狙ってさまざまなエアディフレクターが登場した

